**平成28年度第１回大阪府泉州保健医療協議会概要**

日時：平成２８年５月２６日（木）１４:００～１５：５０

場所：泉南府民センタービル1階　多目的ホール

■**議題　会長　副会長の選出について**

**■議題　地域医療構想実現にむけた取り組みについて**

**（資料に基づき、大阪府和泉保健所から説明）**

（資料１）大阪府地域医療構想（大阪府保健医療計画別冊）泉州構想区域について

（資料２）大阪府地域保健医療推進懇話会設置要綱

（資料３）大阪府泉州保健医療協議会における懇話会及び検討会の関連図

（資料４）新規懇話会の委員構成について

（資料５）在宅医療懇話会における意見交換の進め方について

（資料６）平成26・27年度病床機能報告　機能別報告情報

（資料７）国第14回地域医療構想策定ガイドライン等に関する検討会資料１.２.３

（資料８）保健医療計画（地域医療構想）にかかる厚生労働省提供データについて

（資料９）平成27年7月時点　泉州医療機関　病床機能報告一覧

（資料10）泉佐野保健所管内病院地図

（資料11）搬送実績　ORIONデータ

 (資料12) 地域医療介護総合確保基金とは

（資料13）平成27年度地域医療介護総合確保基金事業一覧

（資料14）平成28年度地域医療介護総合確保基金事業（案）一覧

（資料15）「病床の機能分化・連携を推進するための基盤整備事業」の拡充について

**（主な質問・意見等）**

（１）地域医療構想について

○　必要病床数の算定根拠となる入院受療率は、年度で大きく違うので、慎重に扱っていただきたい。

○　泉州地域は、高度急性期が不足する中、救急医療体制を整備・発展させてきたので救急の視点ははずせない。病床機能懇話会に救急医療の代表を入れてほしい。

（２）平成27年度病床機能報告制度の報告状況について

　　　　データについて

○　病床機能報告に不備はないのか

○　入院受療率については、眼科・耳鼻科・その時期に流行した感染性疾患も含めて　　　出されているので、きちんとしたデータの整理が必要である。

○ 泉州圏域においては、ORIONデータから軽症から重症までいろいろなデータの抽出ができる。ORIONデータ部会では、圏域内のデータを圏域内で使う事は第３者への提供にあたらない事を確認した。実際に救急搬送までにかかる時間など、泉州らしいデータを出してはどうか

○　がん登録のデータを資料として使ってはどうか

○　地域の中でどれくらいの疾患が発生しているのかを出して、それに見合う病床がどれくらい必要なのかという議論が大事である。DPCデータを利用してはどうか

○　NBDデータについて、各圏域がどこまで分析しどこまで公開できるのか教えていただきたい。

1. 地域医療介護総合確保基金について
	* 新規事業は駄目ということか
2. 病床転換補助金について
	* 病床機能転換補助金の条件として「平成２７年度病床機能報告を慢性期で報告しているところ」とあるが、この条件は外した方がよい。

**（主な大阪府の回答）**

（１）地域医療構想について

○　病床機能懇話会に救急の代表に出席していただく件については、大阪府の圏域で委員は統一になっており委員としては難しいが、オブザーバーとして入って意見を言っていただきたい。

（２) 平成27年度病床機能報告制度の報告状況について

データについて

○　今回出しているデータや今年度これから出すデータは、いろいろな問題がある事は認識している。委員の皆さまには、今あるデータの見方や必要なデータをどこまで出すのかを議論いただきたい。

○ がん登録のデータやDPCデータは、データブックにはないので出していきたい。

NBDの生データを圏域で分析する事については、詳細不明の部分が多くあると聞いており現時点では難しい。

○　病床機能報告は医療法で定められオープンになっているものなので、病床機能懇話会では病床機能報告に基づいた病院名やその数値を示していきたい。

○　この圏域でデータを情報共有し現状を認識し、その中で課題は何かという共通認識を持ちたい。

1. 地域医療介護総合確保基金について

○　新規事業は難しいが、既存事業の中でこれはこのように振り替えてはどうかという意見は賜れる。

(４) 病床転換補助金について

○　『病床機能転換補助金の条件として「平成２７年度病床機能報告を慢性期で報告しているところ」とあるが、この条件は外した方がよい。』というご意見は本庁に伝える。

■**議題　懇話会委員の見直しについて**

**（資料に基づき、大阪府泉佐野保健所から説明）**

（資料16）泉州医療協議会　役員輪番表の修正・追加について（案）

　　　質問・意見等なし

**■脳卒中地域連携パス（泉州版）運用会議の報告**

（**資料に基づき、府中病院理事長　田中委員から説明）**

（資料17）脳卒中地域連携パス（泉州版）運用報告および泉州地域リハ関連会議報告

質問・意見等なし

■その他

○　泉州圏域は、北中南で急性期・回復期・慢性期で偏りがある事を昨年度の地域医療構想懇話会で説明した。このことを抜きにして考えるとますます南の地域に急性期がなくなる。 病床機能報告のまとめを、地域別に出してみてはどうか。

○　地域にわける事もよいが、最後は泉州圏域としてまとめる事は必要。

議論の中でいきなり泉州圏域で決められない事は幾つかのブロックに分けて決めていきながら、それを泉州全体のルールにしていく事が現実的ではないか。

○　診療所の視点を加えれば、数字ばかりが独り歩きしないでもう少し医療の提供の形が見えてくると思う。